



各 位

平成 26 年 4 月 21 日

上場会社名 株式会社リソー教育
代表者 代表取締役会長兼社長 岩佐実次
(コード番号：4714 東証第一部)
問合せ先責任者 情報開示担当リーダー 劉 賢一郎
情報開示担当リーダー 石田 敦英
(TEL 03-5996-3701)

資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、下記のとおり資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の目的

当社は、平成26年2月期（第29期）において当期純損失を計上し、繰越利益剰余金の欠損額 2,900,843,069円を計上するに至っております。早期の業績回復と財務体質の健全化について努力してまいります。繰越損失の解消には期間を要するものと見込まれます。この欠損金を填補し、資本政策上の柔軟性及び機動性を確保するとともに、早期復配体制の実現を目的として、資本準備金の額を減少し、剰余金の処分を行うことといたしました。

※当社定款第46条の規定により、会社法第459条第1項に掲げる事項（資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分）を取締役会で決議しております。

2. 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振替えるものです。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金	1,663,905,570円
-------	----------------

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	1,663,905,570円
----------	----------------

3. 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補いたします。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	2,900,843,069円
----------	----------------

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	2,900,843,069円
---------	----------------

4. 資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の効力の発生日

(1) 取締役会決議日	平成26年4月21日
-------------	------------

(2) 効力発生日	平成26年4月21日
-----------	------------

5. 今後の見通し

本件は、「純資産の部」の勘定科目間の振替処分であり、当社の純資産の額の変動はなく、当社の連結及び個別業績に与える影響はございません。

以上